

世界が進むチカラになる。



経済調査

中国景気概況(2026年7月)

2026年7月2日

調査部 副主任研究員

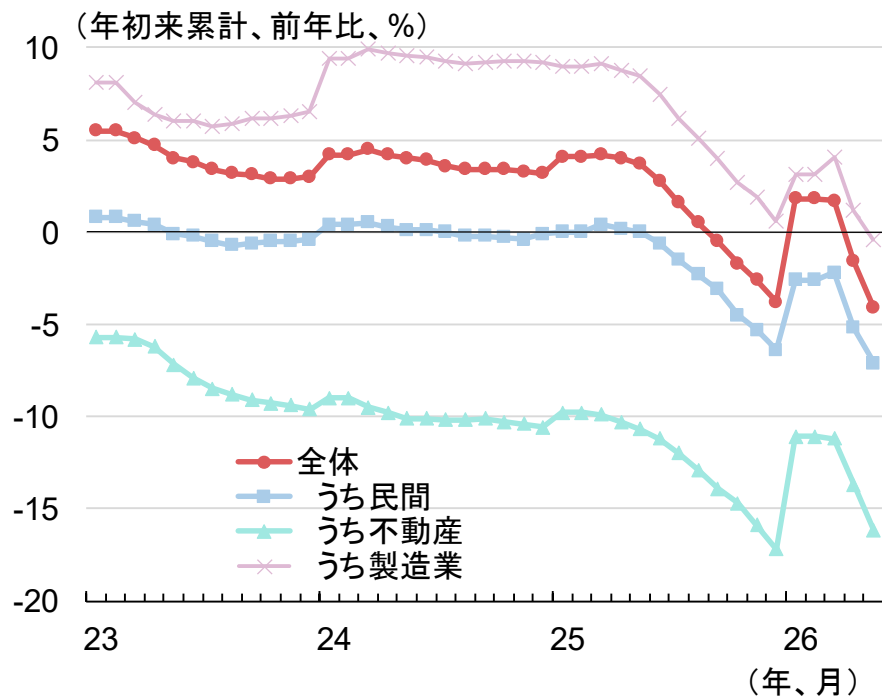
丸山 健太

固定資産投資は減少、生産は増加幅が拡大

5月の固定資産投資(年初来累計値)は前年比-4.1%と、減少幅が拡大した。製造業の投資が減少に転じ、全体を押し下げた。また、季節調整済み前月比(年率換算)は-20.7%と、3カ月連続で二桁の大幅な減少となった。

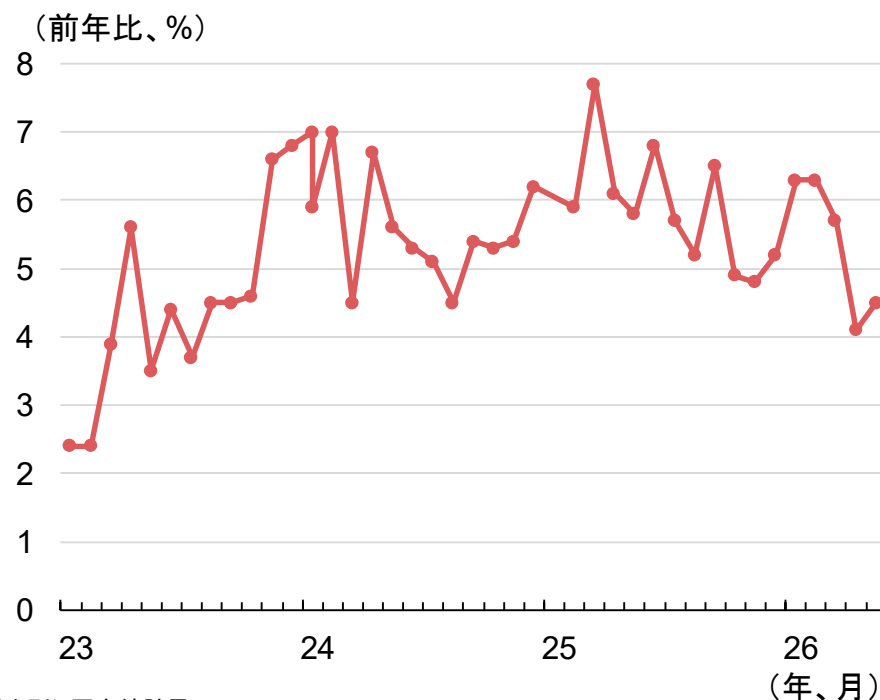
5月の工業生産は前年比+4.5%と、前月から増加幅が拡大した。工業用ロボット(同+28.1%)や集積回路(同+25.4%)が大幅に増加した。また季節調整済み前月比は26カ月連続でプラスだった。内需が弱い中、生産は鈍化しつつも底堅い。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



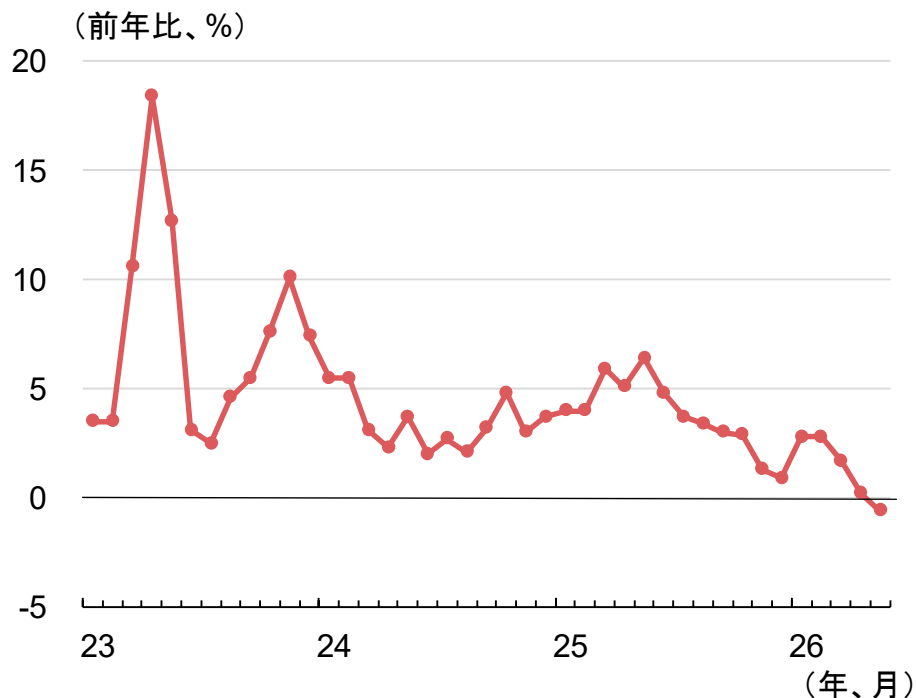
(出所) 国家統計局

消費は減少、物価は中東情勢を背景に上昇

5月の小売売上高(名目)は前年比-0.6%と、ゼロコロナ政策が解除される前の2022年12月以来の前年割れとなった。耐久財買い替え策の縮小による政策効果の剥落で自動車(前年比-16.1%)や家電(同-15.6%)の減少幅が拡大したほか、不動産不況が長引く中、建築・リフォーム材料(同-13.6%)や家具(同-8.7%)の大幅な減少が続いた。

5月の消費者物価は前年比+1.2%と上昇が続いた。中東情勢の混乱によるエネルギー価格の上昇が全体を押し上げた。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数

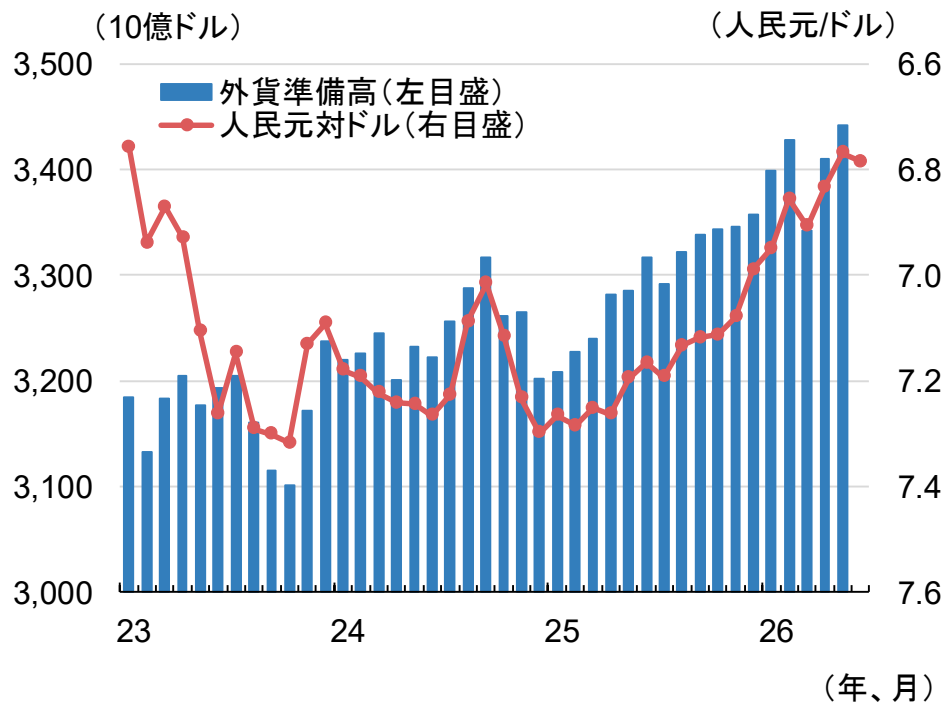


(出所) 国家統計局

為替は元安、株価は横ばい

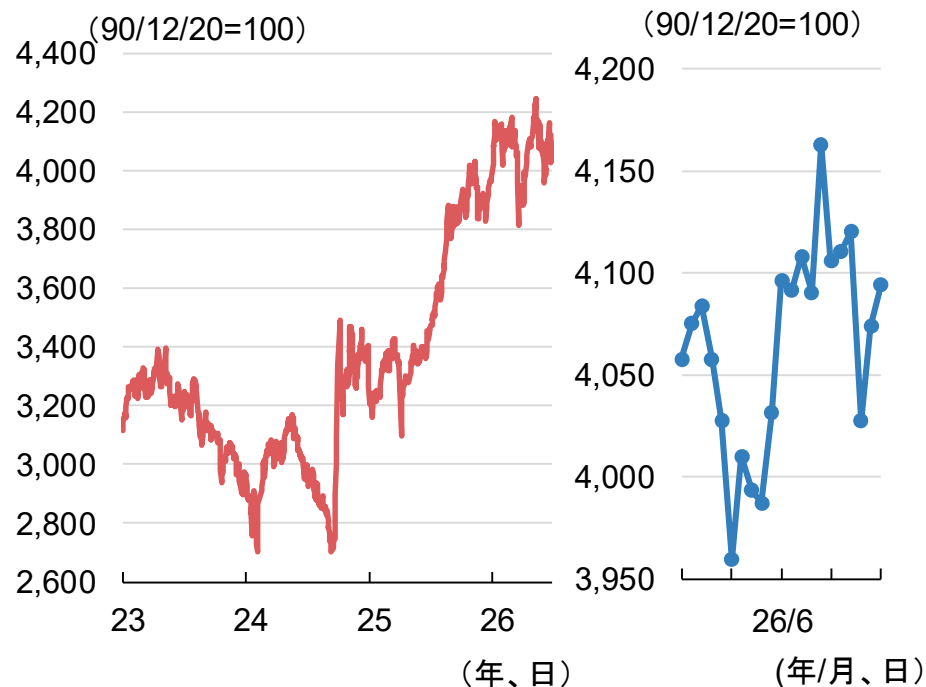
人民元の対ドルレート(6月末)は1ドル=6.79元だった。大幅な貿易黒字などを背景に元高基調は続いているが、米国の高金利が長期化するとの観測から、わずかにドル高・元安が進んだ。5月末の外貨準備高は3兆4,422億ドルと増加した。6月の上海総合株価指数は、初旬には中東情勢への警戒感から弱含んだが、中旬に米・イラン間での停戦合意の成立などを受け、持ち直した。業種別指数は、「エネルギー」や「消費関連」が弱かった一方、「通信」や「情報」は上昇が目立った。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行、中国外貨交易中心

上海総合株価指数



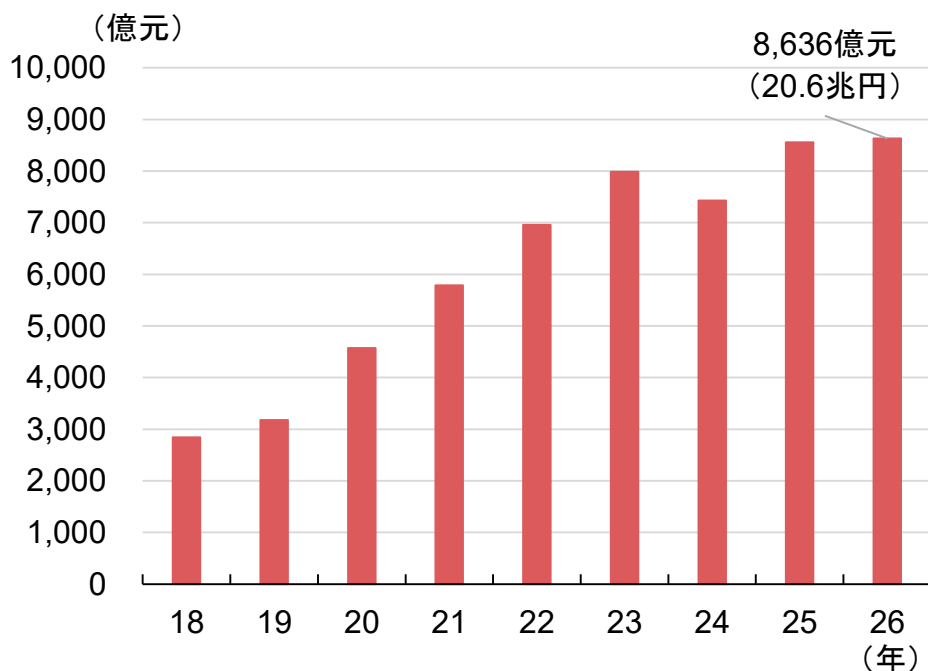
(出所) 上海証券交易所

大型ネットセールも消費回復にはつながらず

5月から6月にかけて、大型ネット通販セールである「618商戦」が実施された。同セールは11月11日の「独身の日」に次ぐ大型セールで、EC大手・京東の創業記念日に合わせて毎年実施される。今年も昨年と同様、5月13日から6月18日の1カ月超にわたり実施されたが、主要プラットフォームの流通取引総額は前年比+0.9%と横ばいにとどまった(左図)。

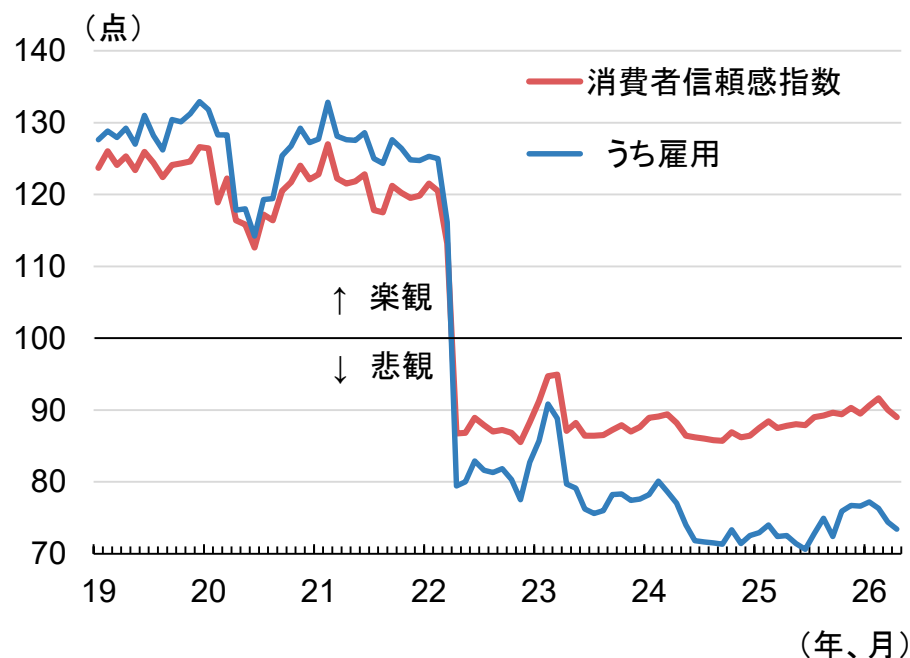
売上伸び悩みの背景には、販促期間外でも頻繁に値引き販売が行われていることや、雇用情勢の悪化により消費意欲が低迷していることがある(右図)。セールは消費の本格回復にはつながらなかったとみられる。

「618セール」における主要ECサイトの流通取引総額



(出所) 星图データが公表する各年のレポートより作成

消費者信頼感指数



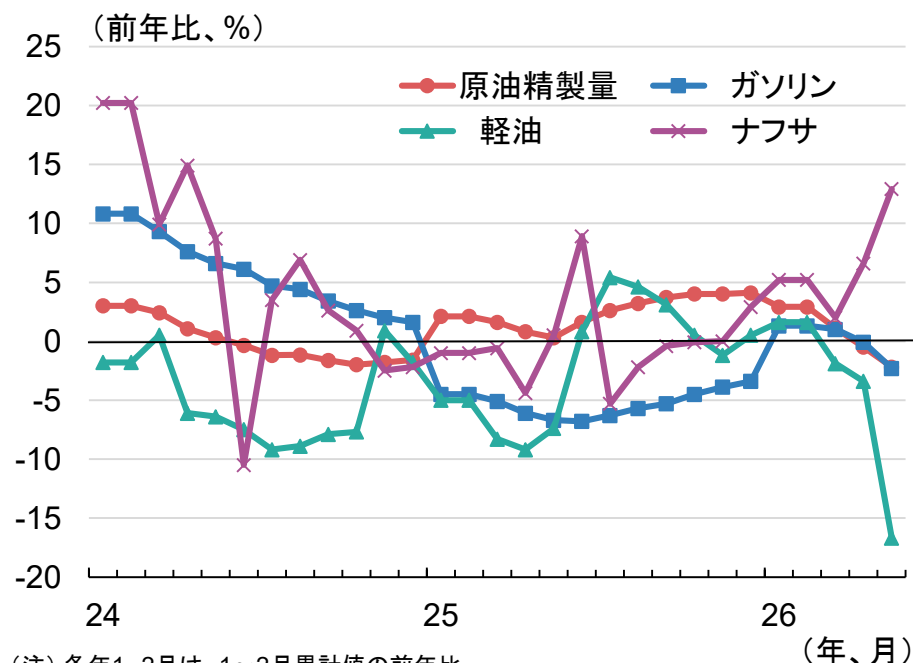
(出所) 国家統計局

原油供給が減少する中でも、ナフサ増産で供給不安は後退

中東情勢の混乱が長期化している。原油供給の急減により、ガソリンなどエネルギー価格が高騰しているうえ、アジアを中心にナフサ不足が深刻化している。そうした中、中国ではナフサの生産が足元で大きく増加している(左図)。

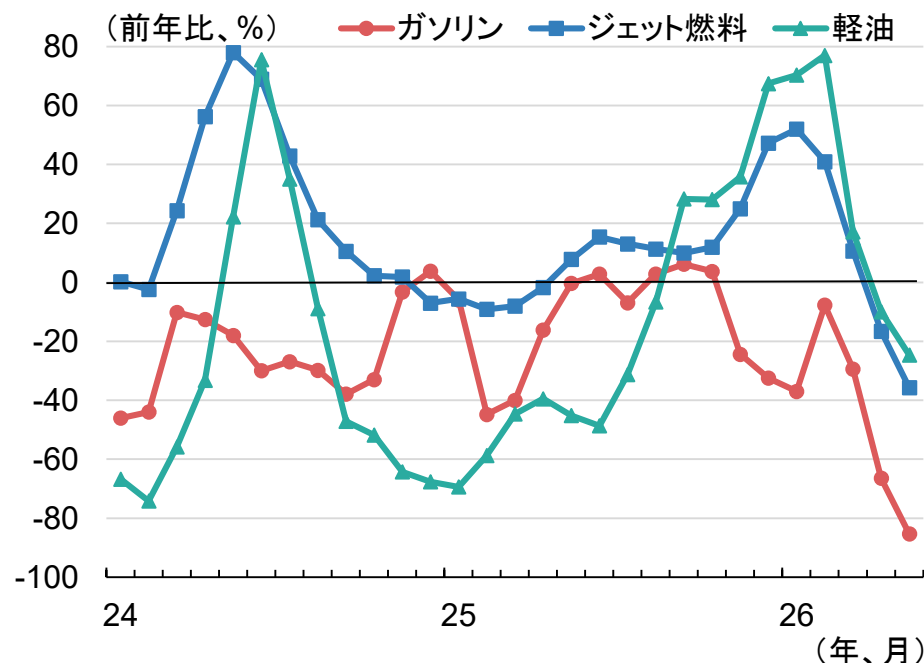
ナフサの原料となる原油の輸入量(5月:前年比-29%)は大きく落ち込み、精製量も減少しているが、その過程でガソリンや軽油などを減産しナフサを増産するよう調整しているとみられる。政府も3月にガソリンなど石油製品の輸出を制限するなど(右図)、事実上ナフサ増産を促している。この結果、ナフサの供給不安は後退した。

原油精製量／精製品の生産(前年比)



(注) 各年1、2月は、1~2月累計値の前年比
(出所) 国家統計局

石油製品の輸出(3カ月後方移動平均の前年比)



(出所) 海関総署

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査部 丸山健太

TEL: 03-6733-1630 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー